

# 全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立佐野中学校

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

## 3. 調査の対象

中学校第3学年，全生徒

実施生徒数（ 286 人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 72.2／泉佐野市 70.8／大阪府 74.4／全国 75.8）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 60.4／泉佐野市 59.9／大阪府 64.8／全国 65.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことに課題がある。</p> <p>8二 意図に合った質問として適切なものを選択する。(69.6/76.1)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書くことに課題がある</p> <p>2二 意見文を直した意図として適切なものを選択する。(75.9/83.6)</p> <p>○伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がある</p> <p>7二 要望を適切に捉え、回答案の冒頭に一文を加える(55.6/66.4)</p> <p>○伝えたい事実を明確に書くことに課題がある。</p> <p>7二 棒グラフの変化の内容を適切に書く(63.6/67.6)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することは概ねできている。</p> <p>3三 嘉助の言動から読み取れる様子として適切なものを選択する(88.1/89.8)</p> <p>○目的に応じて要旨を捉えることに課題がある。</p> <p>6一 「あす」と「あした」という言葉の意味の変化を整理した表に当てはまる言葉として適切なものを選択する(64.7/71.3)</p>	<p>○表現の特徴を捉えることに課題がある。</p> <p>6二 文章について説明したものとして適切なものを選択する(81.8/87.1)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。</p> <p>9三ウ 適切な語句を選択する（彼女は、学級の縁の下の力持ちと言える存在だ）(54.5/70.8)</p> <p>○単語の類別について理解することは、概ねできている。</p> <p>9四①「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する(64.7/62.3)</p> <p>9四②「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する(39.2/33.7)</p> <p>○手紙の書き方を理解して書くことに課題がある。</p> <p>9六 手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する(42.7/58.2)</p> <p>8三オ 適切な敬語を選択する（お客様、私が校内をご案内します）(91.7/93.0)</p> <p>○代表的な古典の作品に関心をもつことについてはよくできている。</p> <p>9七2 古典の作品名を漢字で書く(75.2/66.7)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p><b>【話すこと】</b></p> <p>○状況に応じて、資料を活用して話すことに課題がある。</p> <p>1ー ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する (67. 8/73. 2)</p> <p><b>【書くこと】</b></p> <p>○資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くことに課題がある。</p> <p>1三 演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く (48. 3/56. 2)</p> <p>○複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。</p> <p>2三 資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く (15. 0/23. 0)</p> <p>○文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>3三 文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く (22. 0/31. 1)</p>	<p><b>【読むこと】</b></p> <p>○目的に応じて文章を要約することに課題がある。</p> <p>2ー ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する (75. 2/82. 6)</p> <p>○複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。</p> <p>2三 資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く (15. 0/23. 0)</p> <p>○文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>3三 文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く (22. 0/31. 1)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	53.6	60.5	◇	6.9
国語の勉強は大切だと思いますか	86.2	89.9		3.7
国語の授業の内容はよく分かる	75.0	74.3		0.7
読書が好き	58.8	67.9	◇	9.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	77.1	84.2	◇	7.1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	41.2	59.2	○	18.0
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	33.5	54.0	○	20.5
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	50.1	65.7	○	15.6
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	63.4	70.6	◇	7.2
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか	68.9	76.4	◇	7.5

- 学習状況調査の中で、10項目のうち8項目と多くの項目において、全国との差が5%以上と著しい差があり、課題があると考えられる。
- 国語の学習は大切だと考える生徒の割合について、前年度に比べて全国との差が広がっている。
- 国語の授業の内容がよく分かる生徒の割合が前年度に比べて5.6%上昇し全国との差も大きく縮まっている。
  - ・国語の授業の内容はよく分かりますか(H26 69.3)
- 読書が好きと答えた生徒の割合について、全国との差が10%以下に縮まった。
- 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしているという生徒が、前年度に比べて4.3%上昇しているが、全国との差が18%程度ある。
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫しているという生徒の割合について、全国との差が20%と大きく広がっている。
  - ・国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか(H26 36.9)
- 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる生徒の割合について、全国との差が7.2%と大きく広がった。
- ・国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか(H26 34.2) 昨年度の全国との差(H26 1.4%)

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多い。 平均正答率（本校 59.8／泉佐野市 59.4／大阪府 64.3／全国 64.4）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層及び中位層がやや少なく、下位層に少し偏っている。 平均正答率（本校 36.2／泉佐野市 36.5／大阪府 41.4／全国 41.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特徴がみられた設問
<p><b>【数と式】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比を簡単にすることは、概ねできている。</li> <li>1(1) 12 : 9 と等しい比を選ぶ(91.6/93.6)</li> </ul> <p>◇四則の計算をすることは全国に比べ、課題がある。</p> <li>1(2) <math>12 - 2 \times (-6)</math> を計算する(75.6/83.7)</li> <p>○文字の利用に関する知識は全国に比べ、課題がある。</p> <li>1(3) <math>a</math> が正の数のとき、<math>a \times (-2)</math> の計算の結果について、正しい記述を選ぶ(64.5/75.7)</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字式の計算は、概ねできている。</li> <li>2(1) <math>5x - x</math> を計算する(83.6/85.3)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字式の利用の問題に課題がある。</li> <li>2(2) 赤いテープの長さが <math>a</math> cmで、白いテープの長さの <math>3/5</math> 倍のとき、白いテープの長さを <math>a</math> を用いた式で表す(21.6/22.2)</li> </ul> <p>◇連続する3つの数の文字式の問題に、全国に比べ課題がある。</p> <li>2(4) 連続する3つの整数のうち最も小さい整数を <math>n</math> とするとき、それらの和が中央の整数の3倍になることを、<math>n</math> を用いた式で表す(50.2/57.0)</li> <p>◇小数が含まれた方程式を解くことに、課題がある。</p> <li>3(2) 一元一次方程式 <math>1.2x - 6 = 0.5x + 1</math> を解く(64.8/73.8)</li>	<p>◇連立方程式の計算に、全国に比べ課題がある。</p> <li>3(4) 連立方程式 <math>4x + 2y = 5</math> を解く  <math>x + y = 2</math>                      (48.8/56.8)</li> <p><b>【図形】</b></p> <p>◇垂線の性質の理解に全国に比べ課題がある</p> <li>4(1) 垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ                      (50.5/59.1)</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回転体の立体をイメージすることは、概ねできている。</li> <li>5(2) 直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ぶ(80.5/83.4)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投影図の立体をイメージすることは、概ねできている。</li> <li>5(3) 与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ(82.2/83.8)</li> </ul> <p>◇同位角の位置を理解することは、全国に比べ課題がある。</p> <li>6(1) 同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ(73.9/80.3)</li> <p>◇内角の和が変化する量を求めることは、全国に比べ課題がある。</p> <li>6(2) 四角形を五角形に変えたときの、内角の和の変化について正しい記述を選ぶ(63.4/69.7)</li>

数学A	特徴がみられた設問
<p>◇ひし形の性質について、全国に比べ課題がある。 7(1) ひし形ABCDにおいて、<math>AC \perp BD</math>が表す性質を選ぶ(66.2/76.1)</p> <p>◇三角形の合同条件の使うことに、全国に比べ課題がある。 7(2) 証明で用いられている三角形の合同条件を書く(69.0/76.1)</p> <p>◇平行四辺形になる条件の知識に、全国に比べ課題がある。 7(3) 与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ(41.8/48.1)</p> <p>・証明の書き方に、課題がある。 8 対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ(27.9/25.8)</p> <p><b>【関数】</b> ◇表から式を求めることが、全国に比べ課題がある。 11 一次関数の表から、<math>x</math> と <math>y</math> の関係を表した式を選ぶ(57.5/64.7)</p>	<p><b>【資料の活用】</b> ○度数分布の最頻値、中央値、平均値の求め方が、全国に比べ課題がある。 14(1) 反復横とびの記録の中央値を求める(28.9/46.0)</p> <p>◇度数を求めることが、全国に比べ課題がある。 14(2) 度数分布表について、ある階級の度数を求める(70.7/75.9)</p> <p>◇確率の意味の理解が、全国に比べ課題がある。 15(2) さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ(48.1/55.4)</p>

数学B	特徴がみられた設問
<p><b>【図形】</b> ○平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることに課題がある 3(1) ポップアップカードを<math>90^\circ</math>に開いたとき、四角形EFGHが正方形になる場合のEFの長さを求める(35.3/42.6)</p> <p>○図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することに課題がある 3(2) 四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する(9.0/12.2)</p> <p>○証明を振り返り、新たな性質を見いだすことに課題がある 4(1) 証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したこと以外に新たにわかることを選ぶ(38.5/42.5)</p>	<p><b>【関数】</b> ○与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することが概ねできている 1(1) 投映距離と投映画面の高さの関係を式で表す(28.0/29.3)</p> <p>○必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することが概ねできている 1(2) 投映画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ(36.0/35.1)</p> <p>○与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断することが概ねできている 6(1) 中心角の大きさ <math>x</math> と半径の長さ <math>y</math> の間にある関係について、正しい記述を選ぶ(51.4/46.5)</p>

<p>○発展的に考え、条件を変えた場合について証明することに課題がある</p> <p>4(2) 正方形 <math>A B C D</math> を平行四辺形 <math>A B C D</math> に変えても、<math>A E = C F</math> となることの証明を完成する(42.3/49.6)</p> <p><b>【数と式】</b></p> <p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることに課題がある</p> <p>2(1) 連続する 3 つの整数が 19, 20, 21 のとき、それらの和が中央の整数の 3 倍になるかどうかを確かめる式を書く(72.4/78.8)</p> <p>○事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することに課題がある</p> <p>2(2) 連続する 3 つの整数の和が中央の整数の 3 倍になることの説明を完成する(32.5/43.1)</p> <p>○発展的に考え、予想した事柄を説明することに課題がある。</p> <p>2(3) 連続する 5 つの整数の和について成り立つ事柄を表現する(55.2/63.8)</p> <p>○振り返って立てられた構想に沿って、事象を数学的に表現し、その意味を解釈することに課題がある</p> <p>5(3) 記名のある落とし物を 1 個 1 点、ない落とし物を 1 個 2 点として集計するとき、表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ(58.0/67.3)</p>	<p>○与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題がある</p> <p>6(2) 底面になる円の半径の長さが 8 cm のとき、表や式から、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する(23.4/30.8)</p> <p><b>【資料の活用】</b></p> <p>○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある</p> <p>5(2) 2 回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する(17.8/23.3)</p>
---	---

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	50.5	56.0	◇	5.5
数学の勉強は大切だと思いますか	77.9	82.6		4.7
数学の授業の内容はよく分かりますか	64.4	71.6	◇	7.2
数学ができるようになりたいと思いますか	89.6	91.5		1.9
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	68.1	69.8		1.7
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	33.6	40.9	◇	7.6
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.7	72.5		0.2
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	59.6	67.5	◇	7.9
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	58.1	70.1	○	12.0
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	76.9	80.3		3.4
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	90.3	93.5		3.2

- 最後まで解答を書こうと努力したかという項目で、昨年度より38.8上の数値が出ている。
- 学習状況調査の中で全国との差が5%以上差があるものが5項目と、昨年度より悪くなっている。
- 公式やきまりを習うときに、根拠を理解しているかどうかの項目では、全国と10%、昨年とも10%以上の差がある。
- 数学が好き、大切だと思う、内容が分かる、出来るようになりたいと思うかという、数学に対する考えが昨年度よりもすべて低くなっている。
- 自分の将来や社会において数学が役に立つと考える項目数値が昨年度のものより上がっている。
- 自分の将来や社会において数学が役に立つと考える項目の数値だけが全国を上回っている。
- 解き方が分からないとき、諦めずに色々な方法を考えるかという項目の数値が昨年度のものより下がっている。



## 平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

### 1. 全体の傾向

・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 49.8／泉佐野市 48.2／大阪府 50.8／全国 53.0）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p><b>【化学】</b> ○グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取ることについて、非常に大きな課題がある。 1(4)炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の変化のグラフから、温度と化学変化の記述として適切なものを学ぶ。 (64.9/73.6)</p> <p><b>【地学】</b> ○他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することに、大きな課題がある。 2(3)湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する。 (7.6/14.5)</p> <p>○気圧の変化で、菓子袋が膨らむことについてモデルを使った実験を計画することについて、大きな課題がある。 2(4)上空を飛行中の飛行機内での菓子袋のふくらみを検証する実験について、空気を抜く操作に対応する飛行機の状況を推論する。 (54.2/62.2)</p>	<p><b>【物理】</b> ○技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することに、大きな課題がある。 5(2)電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する。 (49.0/56.8)</p> <p>○音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することに課題がある。 6(2)音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ。 (24.0/29.9)</p> <p>○見いだした問題を元に、適切な課題を設定することに、大きな課題がある。 7(3)キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から、適切な課題を記述する。 (47.6/57.3)</p> <p><b>【生物】</b> ○他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な（課題に正対した）考察を記述することができる。 8(3)課題に対して適切な（課題に正対した）考察になるよう修正する。 (40.3/47.4)</p>

#### 4. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	47.4	61.9	○	14.5
理科の勉強は大切だと思いますか	59.8	69.3	◇	9.5
授業の内容はよく分かる	54.4	66.8	○	12.4
自然の中で学んだことや自然観察をしたことがある。	59.1	75.5	○	16.4
授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	32.8	46.9	○	14.1
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	42.2	54.3	○	12.1
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。	20.4	38.4	○	18.0
理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか。	20.4	38.4	○	18.0
理科の授業では、理科室で観察や実験を月に1回以上行いましたか。	6.9	83.9	○	77.0
観察や実験は好きですか	65.0	80.1	○	15.1
理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	33.2	55.0	○	21.8
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	41.1	67.2	○	26.1

○学習状況調査の中で全国と10%以上差があるものが12項目中11項目、5%以上10%未満で差があるものが残り1項目該当という実態があり、12項目全てにおける課題が浮き彫りになった。

○第一項目～第三項目にかけての本回答結果が、前項目の現状を裏付けているように考える。①理科の勉強が好き。②理科の勉強が大切だと思う。③理科の授業の内容がよく分かる。これら三項目のポイント数が②>③>①となっていることから、『理科の勉強が好きではないし、授業内容もよく分からないが、理科は大切だと思う。』と考えている生徒の傾向が見える。しかしながら、『理科の勉強が大切とは思わないし、授業内容もよく分からないが、理科の勉強が好き。』と考えている者が約半数居ることからも、生徒の興味関心を喚起させ、持続させ得る教材研究の必要性を再確認させられる結果であると考えられる。

○第一項目・第四項目～第九項目から、『実験活動の充実』が課題であると考えられる。本校での実験活動の現状であるが、理科室だけでなく通常教室においても、生徒実験や演示実験をとり入れているが、第五項目や、第七項目・第八項目が顕著に低いことから、グループワークなどの生徒が主体的に参加する授業や、課題について考え意見交換が出来る授業の必要性を感じる。

○第十項目～第十二項目からも、生徒の主体性をより引き出す工夫の必要性が見られる。生徒が問題の解決方法について考え意見交換を行い、実験により確かめるという『問題解決型の授業』の導入を検討すると併せて、自らの考えを文章で表現する機会も大切にしていきたい。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○毎日同じ時間に就寝している生徒の割合が低い。また、1日3時間以上、テレビやDVDの視聴、TVゲームに費やしている生徒の割合が全国平均を上回っている。携帯やスマホに3時間以上費やす生徒の割合も全国平均を上回っている。	○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 <65.4/75.2> ○自分には良いところがあると思う。 <60.9/68.1> ○1日3時間以上テレビ、ビデオ、DVDを見ている。 <38.8/30.5> ○1日3時間以上TVゲームをする。 <25.9/20.5> ○1日3時間以上携帯やスマホで通話・メール・ネットをしている。 <27.3/18.2> ○家の人と学校での出来事を話す。 <66.4/73.7> ○地域の行事に参加している。 <22.8/44.8> ○地域や社会の問題に関心がある。 <45.7/55.9> ○地域や社会をよくするために何をすべきか考える。 <25.6/32.9>
【家庭学習の様子】	○平日は2時間以上、休日には3時間以上家庭学習をしている生徒は全国を上回っている。一方平日の家庭学習が30分より少ない生徒の割合も高い。	○授業以外平日に2時間以上勉強する。 <48.8/35.7> ○土日に1日3時間以上勉強する。 <28.4/17.7> ○家で学校の宿題をする。 <83.1/89.3> ○家で学校の復習をする。 <39.8/52.0>
【学校での学習の様子】	○学級で話し合ったり、協力して何かをやり遂げたりした割合が全国を下回っている。「総合的な学習」や普段の授業で課題を立てて調べたことを発表する学習に取り組んだ割合が全国を下回っている。授業のはじめに目標やめあてを示したり、最後に振り返ったりする活動が全国より低い。話し合い活動を通じて考えを深めたり広めたりすることも全国を下回っている。	○学校に行くのは楽しい。 <69.2/82.1> ○学活等に学級で話し合ってきたり等を決めている。 <42.9/78.3> ○学級で協力して何かをやり遂げて嬉しかったことがある。 <64.7/89.2> ○学校の規則を守っている。 <89.0/94.4> ○「総合的な学習」は社会に役に立つと思う。 <59.5/74.6> ○「総合的な学習」で課題を立てて情報を集め、調べたことを発表する学習に取り組んだ。 <23.5/58.0> ○授業では自分の考えを発表する機会が与えられていた。 <63.7/85.9> ○授業では生徒の間で話し合う活動をよく行った。 <57.8/78.2> ○授業では学級やグループで課題を立てて情報を集め調べたことを発表する学習に取り組んだ。 <36.0/65.7> ○授業のはじめに目標が示されていた。 <54.7/79.7>

		<p>○授業の最後に学習を振り返る活動をよく行った。  <span style="float: right;">&lt;42.3/59.3&gt;</span></p> <p>○原稿用紙2, 3枚の文章を書くことは難しい。  <span style="float: right;">&lt;73.7/64.4&gt;</span></p> <p>○自分の考えを説明したり文章に書いたりすることは難しい。  <span style="float: right;">&lt;69.6/64.4&gt;</span></p> <p>○話し合い活動を通じて考えを深めたり、広げたりすることが出来ている。  <span style="float: right;">&lt;44.6/62.9&gt;</span></p>
--	--	---

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

本校ではこれまで、学習指導目標として①一人ひとりの良さを生かし、伸ばすことにより、生徒の学ぶ意欲を高める。②教科内を精選し、基礎的基本的な学力を確実に習得させる。③教科・教具・教育機器の活用に努める。④生徒の自主的、積極的な学習態度を育成する。⑤学習の評価についての研究を重ね、よりよい通知票、観点別評価表を作成する。⑥新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「総合的な学習」の時間などについての研究を深める。以上の6点についての充実を目指してまいりました。

主に昨年度は、各学年の道徳担当を中心に、学力向上アドバイザーの協力も得ながら、道徳の研究授業を行ないました。1つのテーマに対して模擬授業を行い、研究討議を繰り返しながら子どもたちにとって興味・関心を持たせつつ、参加や対話を交えながら道徳について考える機会を多く持つように研究や討議を繰り返しました。より授業への参加や対話を重視するように、当該学年の教師が一団となってクラス全体が参加できる新しい内容を考えたりもしました。こういったテーマをいくつも学年で出し合い、検討し、構成し今年度の取組みにつなげています。

また、全ての教師が当該学年の全クラスに道徳授業を行なう為に、クラス全体の状態や子ども一人ひとりの状況を交流しながら、研究・討議を繰り返して行なってきました。授業ではグループで話し合い、討議や全体での発表などを通して言語活動の充実を図るための工夫を行ないました。こういった道徳授業を行なうことによって、個々の教師の授業力向上をめざしつつ、教師集団の連携に繋がっています。

昨年2学期には道徳の公開授業も行い、校内研として全体での研究討議を行ないました。参観する授業が1つのテーマであっても、4つのテーマを同時に全体で交流しましたので、有意義な研究会でありました。今日まで、毎日各学年では情報交換を行ない、報告・連絡・相談を徹底し、クラスの中での個に対して様々な考慮をしながら、クラスの実情を考えて指導も検討しています。

### ◎これからの取組み

本校では、平成27年度全国学力・学習状況調査の分析結果を基に、主に次のような点を中心に課題解決に向けた取組みを進めてまいります。

#### ①授業規律の確立

授業規律の確立については、本年度も生徒会と連携して「授業キャンペーン」を展開する等、その徹底を図ってきましたが、今後もルールを明確化する等の工夫を通じて、子どもたち自身が主体的に授業に取り組んでいける環境を整備し、秩序ある学校作りに努めます。

#### ②授業改善に向けた取組み

従来からも学力向上委員会を中心として、研究授業の実施や、公開授業週間の設定といった取組みにより、授業改善に努めてまいりましたが、今後は「授業のめあての提示」や「ふりかえり活動」の推進を通じて、指導者自身が、生徒に身につけさせたい力を意識した授業を行うとともに、生徒にとっても「わかる喜び」が実感できる授業を目指します。

#### ③話し合い活動の推進

総合的な学習や特別活動において、班を活用した話し合い活動を重視し、しっかりと自分の意見を伝えるとともに、相手の意見にも耳を傾け、課題解決に向けて取り組む姿勢を培う中で、コミュニケーション能力の育成に努めます。

#### ④家庭学習の定着

本校では1日に3時間以上家庭学習をする層と、30分より少ない（やっていない）層に二極化する傾向が見られました。そこで、家庭学習を定着させるために、「家庭学習のてびき」の配布や、「宿題」の出し方について職員の研修を深める等の手立てを講じていきます。

以上4点の柱を中心にして本校の学力向上を推進してまいります。それが十分な成果を発揮するためには、その根底に「お互いに認め合い高め合う質の高い集団」の存在が欠かせません。そこで、Q-U検査を活用した集団分析や、生徒会・プログラム委員会の活性化にも積極的に取り組んでまいります。